

6月期特定非営利活動法人コミュニティラジオ京都  
放送番組審議会（第23回）

1.日時 平成30年6月26日（木）18:30～

北区役所 3階応接室

2.審議委員（7名）

委員長 中川隼人

委員 高奥英路 片木健二 吉村信二 板垣則子 淀野訓子 久保駿哉

3.事務局出席者及び参考人

木村博美（放送局長）

伴野義幸（NPO法人 事務局長）

4.番組審議

1) 対象放送（約20分程度聴取）

平成30年6月20日（水）15時00～15時50分 生放送

「GLOCAL KYOTO 水曜」

番組担当パーソナリティ：中村 アヤ

内容：地域情報から海外の話題まで京都から世界へ発信

OP トーク

五感で楽しむ京の衣食住（夏越しごはん）

古都の言の葉（地震・雷・火事・親父）

北区上京区お知らせ（イベント等）災害時外国人へ声掛けフレーズ

END トーク

2) 番組審議、意見交換

- ・ 番組構成
- ・ 取扱う題材や話題性、伝達性
- ・ 当法人が定める放送番組基準の適合性
- ・ 今後の番組制作へあたって参考事項

5.その他

1) 報告事項

2) 次回（7月期）開催日 7月27日（金）18時30分～

<各委員から出された意見まとめ>

□OP トーク

- ・パーソナリティの方がリスナーと目線の近い感じがしてコミュニティらしくて良い
- ・ただその分、番組説明にある「京都から世界へ」という部分は大きさに思える。
- ・話の調子がゆっくりと落ち着いていて聴きやすい。
- ・ただ BGM の雰囲気も一緒なので単調に聞こえてしまい、感情が見えず共感がしづらい。1 コーナーが長く聞こえてしまう。
- ・オープニングで再放送時の時刻も伝えることに違和感がある。時刻として伝えるのではなく、「○より再放送も行われます」という告知に近い言い回しの方が良い。

□五感で楽しむ京の衣食住（夏越しごはん）

- ・「夏越しご飯」の説明の際に、音ではわかりにくいので文字の説明を入れた方が良い
- ・「夏越しご飯」の話の際に想像しづらい印象だったので、どんなものなのかイメージがしやすい工夫があった方が良い。
- ・「夏越しご飯」を取り上げる際、一方的に喋りで伝えるだけではなくて、地域の商店街やスーパーなどでインタビューを撮ってくるとか電話を繋ぐとかで“展開”を作った方がいい。
- ・「行事ご飯」という言葉は正しい？正しくは「行事食」では。
- ・上賀茂神社の茅の輪くぐりなど、地域に絡めた話へ展開した方が良いと思った。

□古都の言の葉（地震・雷・火事・親父）

- ・「地震・雷・火事・親父」の由来を取り上げる際、火事や地震の際に役立つ防ぎ方など意味のある内容も加えて欲しい。

□北区上京区お知らせ（イベント等）災害時外国人へ声掛けフレーズ

- ・最初の地震の話はタイムリーでみなさん気にしている内容で良かったと思う。
- ・地域のお知らせで上京区の浄慶寺をとりあげていて以前より情報の範囲が広がっていた。
- ・地域のお知らせから、災害時の外国人への声かけへ話題が移る際、話題が移ったことがわかりにくかった。
- ・災害時の外国人への声かけフレーズを伝える際、もっとわかりやすい方が良い。

□END トーク

- ・BGM をもう少しおしゃれな雰囲気のものに変えた方がいい。

- ・メール、FAX等の呼び込みをもっとした方が良い。

#### 総括

今回審議対象となったものについては、当法人が定める放送番組の基準に照らし合わせてみても、これに反するものは認められなかった。

#### 審議会議事録の開示

平成30年6月29日以降、法人事務局で閲覧できるようにした。